

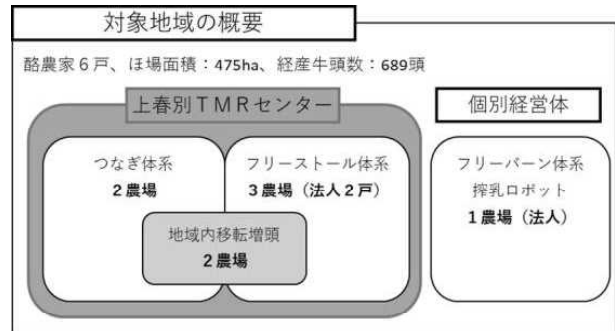
# 持続可能な生産基盤の確立による酪農生産力の強化

(別海町上春別中部地域)

## 1 課題の背景

対象：上春別中部地域6戸・1組織

- ◇法人・地域内移転増頭・搾乳ロボット経営など多様な経営形態が存在。
- ◇経産牛1頭あたりほ場面積が少ない。
- ◇地域の共通目標(R7)：生乳生産量の向上
  - ▶ TMRセンターの円滑なマネジメント、生産効率の向上、良質粗飼料確保が必要



## 2 活動の経過

### 組織運営マネジメントの充実

#### ☆組織内の役割分担 ☆情報共有のための仕組みづくり

#### 組織内の情報共有を推進



#### 地域の情報の共有



- ・組織内の情報共有、組織運営への構成員の意思反映を推進
- ・地域の優良事例を重点だよりで情報共有

### 生産性向上に向けた乳牛飼養管理の改善

#### ☆乾乳牛、搾乳牛の環境改善・飼料給与適正化

#### 定期的に巡回提案



#### 乾乳牛の環境改善



- ・JAと合同定期巡回による提案
- ・環境改善提案および改善後の確認
- ・飼料設計を支援

### 粗飼料品質の向上

#### ☆ほ場利用計画の策定

#### ほ場利用計画の利用、実践



#### 電気牧柵の提案、利用



- ・コーン実証ほを設置(除草剤)し、効果確認
- ・電気牧柵の導入、効果確認
- ・ほ場台帳を更新、整備

### 3 活動の成果 \*\*\*\*\*

#### 組織運営マネジメントの充実



各部長が開催を呼びかけ、定期的に情報を共有



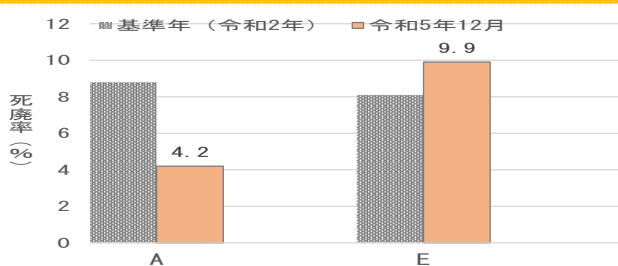
- 飼料設計やほ場管理を役割分担する体制が整備された
- すべての構成員が参加情報共有が進み、意見が反映

- 組織内の情報共有
- 構成員主体の意志決定

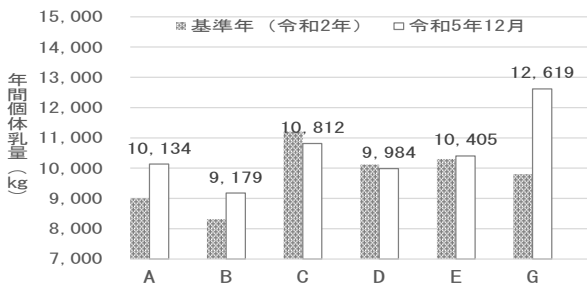
E農場「意見がセンター運営に反映されるようになってきた！」



#### 生産性向上に向けた乳牛飼養管理の改善



分娩後60日以内死廃率の推移 (12月乳検)



年間個体乳量 (12月乳検)

#### 飼槽管理の改善



改善前



改善後

- 分娩環境の改善で死廃率が低減
- 適切な栄養充足

→ 個体乳量の向上

#### 粗飼料品質の向上

雑草対策および適正施肥による収量確保



雑草処理効果および生育確認



- 草地更新時に雑草対策を実施
- 設計に基づく適期施肥の実施
- 雑草茎葉処理を利用する飼料用とうもろこしの品種選定の実施
- 鳥獣による食害対策の実施

### 4 今後の活動 \*\*\*\*\*

生産資材高騰に対応しながら、生産効率の向上を支援

- (1) 生産性向上に向けた乳牛飼養管理の改善
- (2) 粗飼料品質の向上
- (3) 地域情報誌の発行支援による優良事例の共有